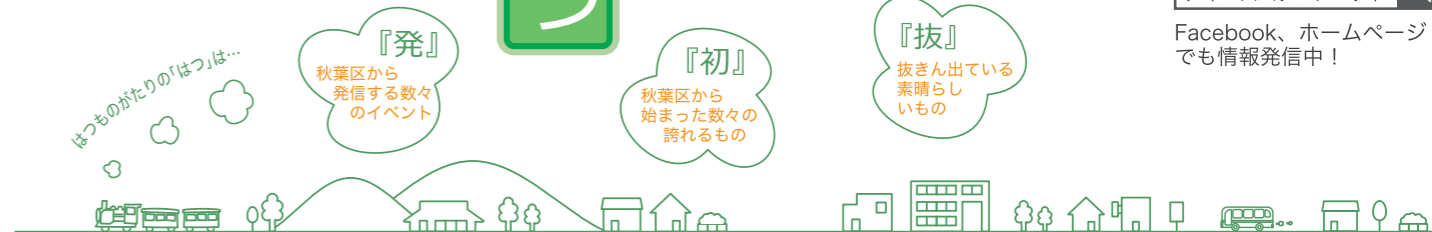


あきはくはつものがたり

令和 2 年 3 月 15 日
発行：秋葉区自治協議会
編集：広報部会

アキハスムプロジェクト

Facebook、ホームページ
でも情報発信中！



課題解決 きらめきサポートプロジェクト Report

第 1 部会提案事業 KIRAMEKI SUPPORT PROJECT supports your problem

地域の宝探し秋葉ひなめぐり

秋葉ひなめぐりとは・・・ひな人形や地域のお宝を眺めながら秋葉区の街並みを散策するイベントです。

4 年目となる今回は、小須戸地区での「在郷町こすどひな・町屋めぐり」に加えて、新たに新津商店街と協働し、新津地区でも「鉄道の街にいつひな・お宝めぐり」を開催しました。両地区ではカルタ大会、ワークショップ、着物を着てまち歩き、スタンプラリーなどの様々な企画も！！3 月 8 日までの間、非常に多くのご来場をいただきました。



新津レポート



2 月 1 日から始まった『地域の宝探し 秋葉ひなめぐり』は、小須戸コミ協が町おこしの一環で始めた行事である。今年で 4 年目ということもあり、新津の商店街にも参加を呼びかけて行われた。立派なひな壇をたくさん揃え、『着物を着てまち歩き』他、さまざまなイベントを用意している小須戸に対して、参加するお店にお宝を探してもらうことから始めた新津地区は用意が大変であったと思う。

しかし、新津地区も遜色ないまでに準備が整い、更に新津中央コミ協が協賛して企画した吊るし雛企画が大盛況だった。秋葉区全体の保育園・幼稚園の多くが参加、そこに介護施設などが加わり合計 70 基以上の吊るし雛が、新津地域交流センターのイベントホールに隙間なく釣り下がった光景は『圧巻！』の一言に尽きる。アンケートでも「来年も必ずやって欲しい。」「次は、七夕だね！」など次を期待する書き込みがほとんどだ。最初の 2 日間で見学者数は 500 名を超えた。きらサポ 4 年目にして、更なる収穫を得たように感じた。

<小林 俊介 記>

小須戸レポート



この事業への思いを小須戸コミュニティー協議会事務局長 佐藤芳常さんにうかがいました。「昨年度まで、小須戸地域で実施してきた『在郷町小須戸ひな・町屋めぐり』をもとにして、今年度は旧新津市にも範囲を広げ、地域住民が一緒になって交流することで市域を超えた交流人口の増加などを目的とした回遊性のある事業としました。地域内外の大勢の人たちからこの事業に参加していただくことで、人と人がふれあい、和やかなひなめぐりになればいいと思っています。」とコメントをいただきました。「のぼり端を持ってお願いと御礼のローラー作戦。」商店街を一軒一軒まわる

という内輪話を聞かせてもらい思わずほっこり。

初日のメイン会場である町屋ギャラリー薩摩屋へ行ってきました!!小須戸出身で西堀在住の方の手作りのひな人形が畳の部屋いっぱい。ご本人自らが駆けつけ、飾り付けには、丸一日費やしたとのこと。案内ボードはお隣の酒屋の奥様が毛筆で作り手の思いを伝えてくれる。地元の人たちがしっかりと演出しているから、すごい!!内外から来られる人たちの問い合わせ先である、小須戸まちづくりセンターにも豪華な 7 段飾りや親王飾りが心を和ませる。スタッフ総出で手慣れた手順で飾り付けの様子を拝見しました。飾り付けをして、後片付け、それを管理する人たちもこの事業をしっかり支えていました。

<大貫 弘美 記>

まんが ジチキョーの女 コウちゃん 第 3 回



【プロフィール】
ジチキョー 2 期目の 70 歳
愛犬のトイプードル樹里ちゃん
とのお散歩が日課

作者：シカクメガネ(秋葉区出身)

中央区・古町にある日本アニメ・マンガ専門学校で、職員として働く傍、マンガ家活動を行う。無類のバイク好き。



「アキハスムプロジェクト」のお揃いのポロシャツを着用して、秋葉区の PR をしながら活動しています。

このロゴマークは『楽しく秋葉区に住む』ということで、家が微笑んでいるように「AKIHA」の文字をタテに並べたものです。



編集後記



かわら版では自治協議会の様々な取り組みをお伝えしていますが 24 号では新しい取り組み、ひなめぐりを紹介しました。昨年まで小須戸の商店街を中心に実施されてきたひなめぐりに新津商店街と秋葉区の保育園・幼稚園・小中学校・福祉施設など 30 団体が折り紙で作る吊るし雛で参加するなど当初の企画枠を超えて広がりました。新津地区、小須戸地区を巡回して楽しめるイベントに育って欲しいと思います。

来年は各家庭に眠る沢山の雛人形を目覚めさせ、眠っている茶道具のお披露目やお茶会、飲食店やお菓子屋さんの創作メニューの提供、吊るし雛のワークショップ、雛まつり講座や町歩きなど更なる広がりを妄想しながら、かわら版 24 号「あきはくはつものがたり」の編集に携わりました。

<本田 富義 記>



募集しています！

かわら版や自治協議会活動についてのご意見、ホームページに掲載してほしい情報を募集しています。住所・氏名・連絡先をご記入の上、下記自治協議会事務局宛てに郵送、FAX、またはメールでお送り下さい。

〒956-8601 (住所記載不要)
秋葉区役所 地域総務課 企画担当
FAX / 0250-22-0228
メール / chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp



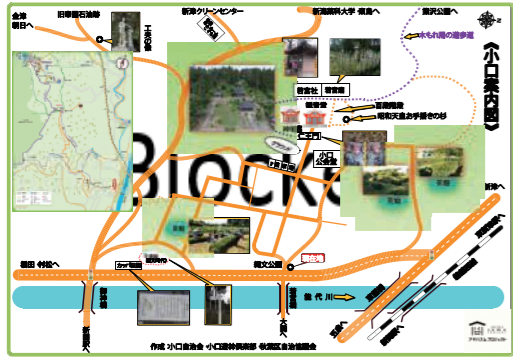
<大貫 弘美 記>

第1部会提案事業

秋葉山分岐点案内図設置事業

現在、秋葉区自治協議会令和元年度「課題解決きらめきサポートプロジェクト」の一つとして「秋葉山分岐点案内図設置事業」を小口遊林倶楽部さんが中心となって取り組んでいます。

小口地区には県内でも最古の一つと言われる縄文遺跡、承久の乱で亡くなった皇子を祀る若宮廟、観音堂、小口油田鉱場跡などが有り、古い歴史を感じさせ、里山の自然の中で落ち着いた雰囲気になっています。



案内図に使われた画像

今年、熊沢公園から東島に至るルート途中の展望台付近から小口地区に分岐するルートを整備し、案内板、方向板を迷い易い地点等の要所に設置します。これによって秋葉公園から熊沢公園そして小口地区を周回するルートなどが安全に楽しめるようになります。この案内板（2基）は、小口地区の歴史、お宝を紹介するものともなっていて小口の皆さんの熱い心のこもったものです。

地区の皆さんは、区内外のより多くの人たちにこの遊歩道を安全・安心に利用して頂くと共に、小口地区そのものを知ってもらい、交流人口増、ひいては人口増に繋がればと願ってられます。

<伊藤直 記>



若宮廟への急坂

小口油田鉱場跡に立つ鉱夫像



第2部会提案事業

笑って、歌って、みんなで楽しく健康づくり

「アーハッハッハ」。講師の村山昭子さんの指導で秋葉区文化会館ホールが大きな笑い声で溢れます。縮んだ体が伸び、全身の笑いへと変わっていきます。防寒着姿が消え、軽やかな服装に変身していきます。「笑って、歌って、楽しく健康づくり」笑いヨガの冒頭です。この後も講師のリードでパワー全開の展開が続きました。



手拍子しながら歌う参加者



笑いヨガを指導する村山氏

次はみんなで歌おうです。笑いヨガで力を使い果たしたかと思いきや、更にパワーアップ。ホールが歌声で溢れました。ピアニスト阿部恵子さんの自在な伴奏と阿部委員の軽妙な進行で、皆さんは歌手になった気分。おまけに裏方の自治協（元）ボーイズもステージでコブシを回らせていただき、会場とステージが一体になったひとときでした。

目標の300人にはわずか届きませんでした。来場者の「よかったよ」の声に自然と笑顔になった一日でした。

<佐藤喜代一 記>



第3部会提案事業

あきは子ども大学とは

秋葉区の特色や伝統、魅力を継続的に体験し、地域に親しみ、興味、関心を高め、主体的な学びの場となるよう企画。秋葉区の小学校1～6年生なら誰でも参加OK！です。

令和元年「あきは子ども大学」スタート！今年度は前期・後期3回ずつ開催します。前期は1～5年生まで19名の子どもたちが参加しました。

あきは子ども大学前期最終回の第3回として、新津健康センターにて、秋葉区の食材を使った親子クッキング体験を開催しました。前段として秋葉区健康福祉課職員の菅井さんから栄養のお話をいただき、菅井さんからの問いかけに子どもたちも積極的に発言しながら熱心に聞いてくれました。



ピザの完成！いただきます！

第3回
11/9(土)
親子クッキング
修了証書授与



一生懸命生地をこねる子どもたち

メインの親子クッキングでは食生活改善推進委員秋葉支部の先生方の手ほどきを受けながら、フライパンで焼ける米粉のピザや人参もち麦のスープ、フルーツのヨーグルト和えと盛りだくさんの内容で、親子仲良く料理体験をしました。「おいしいね！」「楽しいね！」という声も多く、今回もとても実りの多い事業となりました。

最終回ということで、最後に修了証書の授与が行われました。

<川名 伸明 記>

シリーズ <その21>
委員の所属団体の活動

自治協委員が行く



工作をする子どもたち



子どもたちの花植えの様子

-しんせき児童クラブの活動-

昨年4月、新関コミュニティセンターの中に「しんせき児童クラブ」を開設させていただきました。新潟市をはじめ地域の皆様の温かいご支援を頂くとともに、保護者の大切なお子さんを預かる責任を重く感じながら運営に努めています。

児童の皆さんは、下校になりますとコミセンの玄関まで駆け足で、そして、元気一杯「ただいま」と入ってきてくれます。スタッフが「お帰り」と答えますとニコッと一言二言話してくれます。

また、広々としたホールでドッチボールや卓球など、伸び伸び遊んでいます。その姿をご覧になったコミセン利用者の方々からも笑顔がこぼれます。

このように、私たちも児童の皆さんから元気を貰っています。児童数十名の小規模な放課後児童クラブで運営面の課題もありますが、地域の宝である子どもさんを第一に見守り続けていきたいと思っています。

<松田 正志 記>

自治協議会からのお知らせ

秋葉区自治協議会では本会議、各部会を傍聴することができます。定員10名。直接会場へどうぞ。

【3月～5月の会議開催日程】

●本会議 3月27日(金)・4月24日(金)・5月29日(金)
13:00～ 区役所6階 601・602会議室

●部会 本会議の後などに開催

※部会は、まちづくりの第1部会、福祉の第2部会、教育の第3部会ほか、広報活動を行う広報部会があります。

ラジオ版「あきはくはつものがたり」

毎月第2水曜日 12:20～
(再放送 第2水曜日と同じ週の土曜日9:00～)

【4月～6月の放送予定】
4/8(水)・11(土) 5/13(水)・16(土) 6/10(水)・13(土)

『クリック!秋葉区』内「自治協通信」

秋葉区自治協議会本会議の協議内容をお知らせしています。
毎月第2金曜日 10:07～ 4/10(金)・5/8(金)・6/12(金)

ラジオチャット エフエムにいつ 76.1MHz